

# かづの微生物農法研究会便り

H25.2.1 No.123 (通算)



零下10℃の白の世界。

## 寒くも熱い冬。

零下10℃もあたりまえ、東北の真ん中の盆地にあって冬はとても気温が下がる当地鹿角。今季も冬らしい冬になっていると言えそうです。この寒さと雪、地域内に3か所のスキー場がある地の利から、この2月16日から19日にかけて、「あきた鹿角国体2013」が開催されます。全国から選りすぐりの選手たちが集結し、地域内の約3000の宿泊キャパシティもフルに活用して、気温は低いけれど極上のパウダースノーの上で熱い戦いが行われるでしょう。この国体、全国から多くの方が来てくれるせっかくの機会ですから、私達としては鹿角産の美味しいお米やりんご、きりたんぼ鍋をはじめとする郷土料理などを皆さんに食べていただき、この土地や人を知っていただき、いつかまた今度は個人や家族などで訪れてみたいと思っただけのようなおもてなしをしたいと思っています。いかなる競技を行う選手も、健康維持と体作りの基本は毎日の食であると思います。鹿角自慢の美味しい食材で、良い記録と記憶を残していただけるように。

## 「微生物農法」って何のこと?

水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手くいかなかったりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる作物作りをするというのが微生物農法です。

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント!



お買い上げいただいたお米、2800円毎に一枚ついてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをもらえなくプレゼント!



あきた鹿角国体2013

—響き合う 人・雪・感動 ゆめ息吹—

第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会  
平成25年2月16日(土)~19日(火)

<http://common.pref.akita.lg.jp/kokutai/index.htm>



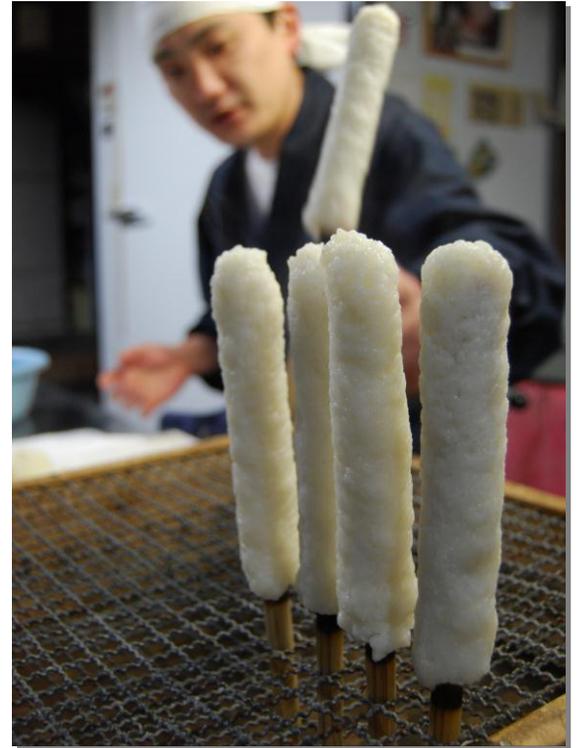
あきた鹿角国体のHPもご覧下さい。  
携帯端末は右のQRコードでも閲覧できます。

# 生産地から

当地鹿角は農業の盛んな土地ですが、その起爆剤となったのは無数の鉱山でした。最も歴史が古い鉱山は、今から1300年ほど前、西暦708年(和銅元年)に発見されたという伝説があります。往古、奈良の大仏造営や平泉の黄金文化に使われ、明治の産業革命と戦争をも支えた当地最大の鉱山、尾去沢鉱山は、近代産業遺産にも指定されました。今は巨大廃墟と総延長800kmにおよぶ坑道が残る史跡尾去沢鉱山、一度是非訪れてみて下さい。



かつて黄金の国ジパングと言われた日本、その呼称の種といわれる平泉の黄金文化を実現させる原動力となった鹿角の金山。江戸時代中期のゴールドラッシュは70年間も続き、小豆大の純金がごろごろと産出されたという。今も、地名で大物(大きな金の塊が取れた沢)、五十枚山(月産黄金五十枚の山)などとして残っている。



今では秋田名物として世に知られるようになった「きりたんぼ」は鹿角発祥と言われ、鹿角の鉱山発展に起因している。鉱山の坑道の落盤を防ぐためには多くの木材が資材として必要で、鉱山の隆盛とともに木材を山から切り出す山子(やまこ)という職人も増えた。山子は山に長期間滞在するが、彼らが携帯食として作ったものがきりたんぼの原型となった、と伝えられている。



こちらのホームページで鹿角地域の様々な観光案内がご覧いただけます。

(社)十和田八幡平観光物産協会  
<http://www.ink.or.jp/kankou18/>  
**かつのファンクラブ**  
<http://www2.city.kazuno.akita.jp/fanclub/index.html>

美味しいお米とりんごのご注文/お問合せ先は・・・

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3

**有限会社 安保金太郎商店**

フリーダイヤル：0120-08-2028

e-mail [kintaro@umaikome.jp](mailto:kintaro@umaikome.jp)



農業が盛んな鹿角地域は、太古の昔から、金・銀・銅などの鉱山で栄えた。鉱山に集まった人々のために農業が盛んになり、街が発展した。鉱山の数、100以上。世界的に例を見ない大鉱脈密集地域だった。しかし今は稼動鉱山ゼロ、高い技術レベルの農業だけが残されている。

**ぜひ一度 かつの鹿角へ遊びに来てみて下さい!**

有限会社 安保金太郎商店  
 かつの微生物農法研究会  
 事務局  
 文・写真：安保 大輔